

# 宝塚市の財務書類を みてみよう

平成22(2010)年度

市の財産や借金などの全体像を把握するために、民間企業の会計手法を取り入れた貸借対照表（バランスシート）などの財務書類を作成しました。このリーフレットを通じて、市民の皆さんに、市の財産や行政サービスにかかるコストなどの状況をわかりやすくお伝えします。

## 平成22(2010)年度の取り組みについて

平成22(2010)年度は、「安全・安心のまちづくり」をすすめるために、小学校や中学校などの耐震化事業の実施や、JR宝塚駅の周辺整備を行ったほか、国の施策に基づいて子ども手当の支給等の事業を行いました。具体的には次のとおりです。

### 安全・安心のまちづくり

学校園施設の耐震化



14億円

JR宝塚駅周辺の整備



9億円

高機能消防指令センターの整備



9億円

予防接種の実施



4億円

### 未来を築く子どもたちの育成

子ども手当  
の支給



41億円

私立保育所  
整備助成



1億円

妊婦健康  
診査費の助成



1億円

### 活力あるまちづくり

雇用の創出



2億円

### 環境にやさしく 持続可能なまちづくり

地球温暖化対策  
空調設備の省エネ改修等



1億円

# 普通会計ベース ※1

平成23(2011)年3月31日現在

## 貸借対照表

貸借対照表(バランスシート)は、現在、市がどれだけ財産を持ち、いくら借金をかかえているのか、市の財政状態を全体像でとらえ、市の資産(土地や建物など)や、将来返済しなければならない負債(借金など)がどれくらいあるかを一覧にしたものです。左側(資金の使い道)は資産を、右側(資金の調達)は負債と純資産を表し、左右同額となります。

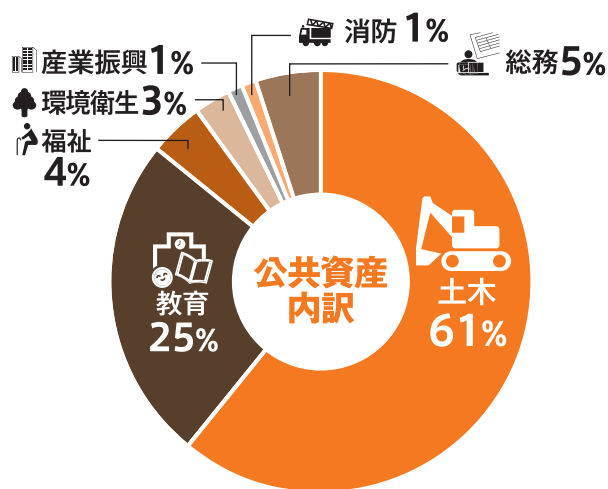
✓ 市民1人あたりでは、資産が **175万円** 負債が **44万円**

### 資金の使い道

公共資産・・・道路、公園、学校、庁舎など 家計に例えると ▶ 自宅・車・家財など	3,656億円
投資等・・・出資金、貸付金、基金など 家計に例えると ▶ 定期預金・株式など	279億円
流動資産・・・現預金、未収金など 家計に例えると ▶ 普通預金・現金など	83億円
<b>資産合計</b>	<b>4,018億円</b>

### 資金の調達

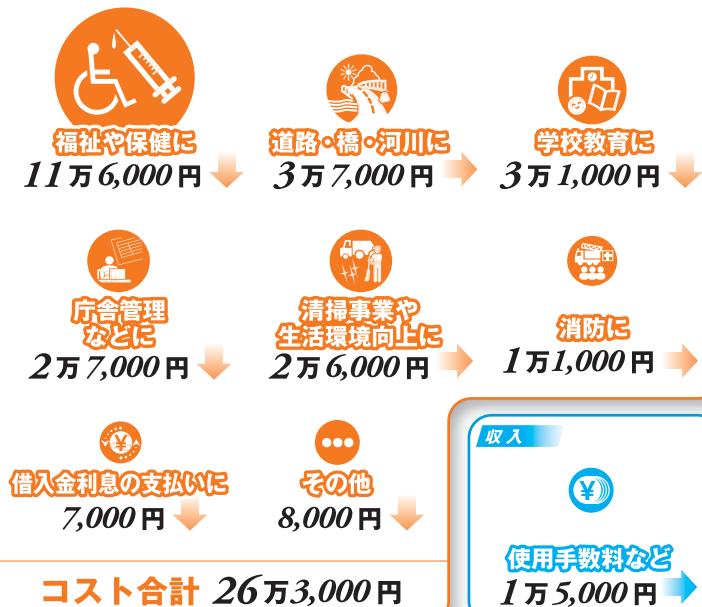
負債・・・将来世代の負担で返済していく債務 家計に例えると ▶ 住宅ローン、カードローンなどの残高	1,000億円
地方債など 退職金の支払予定額 その他	802億円 133億円 65億円
純資産・・・これまでの世代がすでに負担して支払いが済んでいる正味の資産(資産から負債を引いた額) 家計に例えると ▶ 資産購入のためにすでに支払った額	3,018億円
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>4,018億円</b>



### 行政コスト計算書

行政コスト計算書は、福祉や教育などの行政サービスを行うために必要なコスト(費用)を計算した一覧表です。行政コスト計算書で算定される資産形成につながらない福祉や教育などの行政サービスに必要なコスト(費用)は568億円です。

市民1人当たりの支出額 **24万8,000円** ↓



### 【財務書類の作成方法等】

- 財務書類の作成基礎/貸借対照表、行政コスト計算書は、総務省方式改訂モデルに則って作成しています。
- 作成基礎データ/原則として、昭和44(1969)年度以降の決算統計の数値を基礎として作成しています。  
一部、対象年度の歳入歳出決算書等を用いて数値を算出しています。

# 連結ベース ※2

平成22(2010)年4月1日～平成23(2011)年3月31日

## 連結貸借対照表

連結貸借対照表(バランスシート)は、市の各会計、一部事務組合、第三セクターなどをひとつの「行政サービス実施体」とみなして、現在、どれだけ財産を持ち、いくら借金をかかえているのか、財政状態を全体像でとらえ、市の資産(土地や建物など)や、将来返済しなければならない負債(借金など)がどれくらいあるかを一覧にしたものです。左側(資金の使い道)は資産を、右側(資金の調達)は、負債と純資産を表し、左右同額となります。

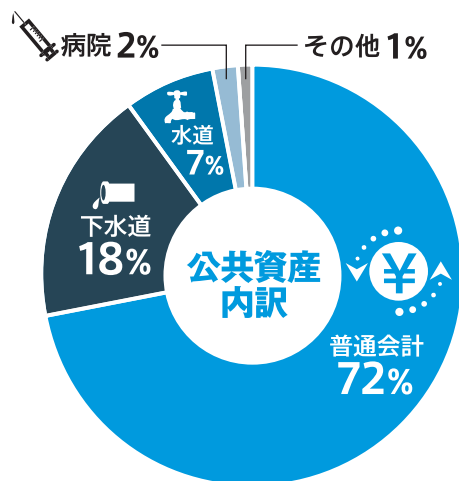
✓ 市民1人あたりでは、資産が **237万円** 負債が **73万円**

### 資金の使い道

公共資産・・・道路、公園、学校、庁舎など 家計に例えると ▶ 自宅・車・家財など	5,111億円
投資等・・・出資金、貸付金、基金など 家計に例えると ▶ 定期預金・株式など	143億円
流動資産・・・現預金、未収金など 家計に例えると ▶ 普通預金・現金など	176億円
<b>資産合計</b>	<b>5,430億円</b>

### 資金の調達

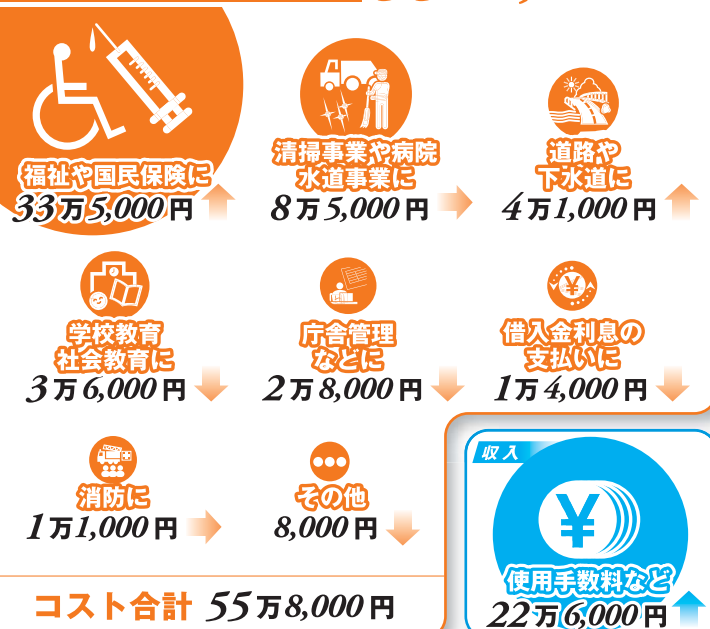
負債・・・将来世代の負担で返済していく債務 家計に例えると ▶ 住宅ローン、カードローンなどの残高	1,675億円
地方債など 退職金の支払予定額 その他	1,429億円 162億円 84億円
純資産・・・これまでの世代がすでに負担して支払いが済んでいる正味の資産(資産から負債を引いた額) 家計に例えると ▶ 資産購入のためにすでに支払った額	3,755億円
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>5,430億円</b>



### 連結行政コスト計算書

連結行政コスト計算書で算定される資産形成につながらない福祉や教育などの行政サービスに必要なコスト(費用)は759億円です。

市民1人当たりの支出額 **33万2,000円** ↑



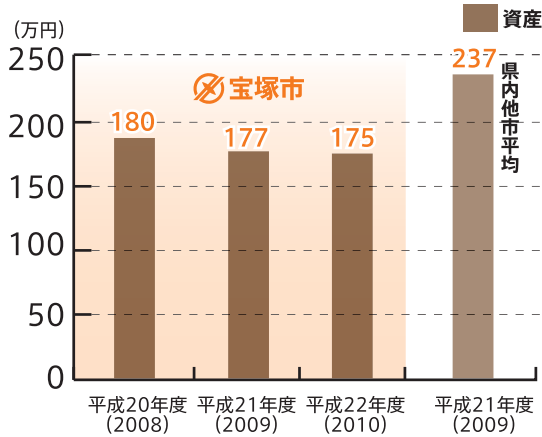
### 【用語解説】

- ※1 普通会計ベース / 一般会計+特別会計のうち公共用地先行取得事業会計
- ※2 連結ベース / 普通会計ベース+特別会計+企業会計(水道・下水・病院)+公社+第三セクター+一部事務組合

# 指標でみてみよう

(普通会計ベース)

## 資産形成度 / 市民一人当たり資産



### Q1 将来世代に残る市の財産はどのくらいですか？

市民一人当たり

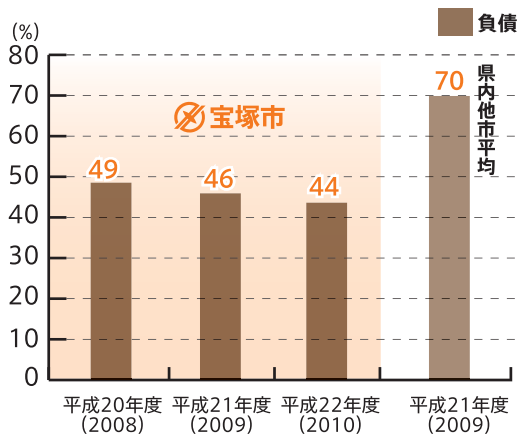
175万円



A1 減価償却が進んだことなどから、市民一人当たり資産は昨年より2万円減の175万円です。

宝塚市は、比較的狭いエリアに人口が集中していることなどにより、効率的に道路整備などを行うことができています。

## 持続可能性 / 市民一人当たり負債



### Q2 将来世代に残る市の負担(借金等)はどのくらいですか？

市民一人当たり

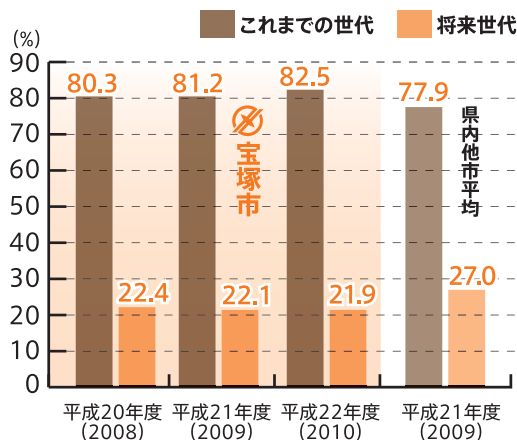
44万円



A2 借金残高の減少などから、市民一人当たりは昨年より2万円減の44万円です。

県内他団体平均と比べると、市民一人当たりの借金等は小さくなっています。

## 世代間公平性 / 世代間負担比率



### Q3 将来世代と現世代の負担のバランスはどうなっていますか？

将来世代

21.9%



A3 県内他市平均の将来世代負担は約3割であるのに対し、宝塚市は約2割であり、将来世代の負担は比較的小さくなっています。

【注1】 県内他市平均の数値は、兵庫県内の平成21(2009)年度の普通会計ベースの財務書類の数値が公表されている29市を対象としています。

【注2】 住民一人当たりの金額は各年度3月末の住民基本台帳人口を基に算定しています。(右図参照)

宝塚市 住民基本台帳人口(3月末)

県内他市平均

平成20(2008)年度	平成21(2009)年度	平成22(2010)年度	平成21(2009)年度
226,315人	227,826人	229,116人	167,722人

もっと知りたい方はこちらインターネットHP

宝塚市の財政状況

検索

連絡先 宝塚市 企画経営部行財政改革室財政課

〒665-8665 兵庫県宝塚市東洋町1番1号

Tel 0797-77-2022(直通) Fax 0797-72-1419

http://www.city.takarazuka.hyogo.jp/